



写真：森下東樹

## 博物館に新しい風を



亀陽文庫理事長

原寛

本年は戦後80年、昭和元年からは100年を迎えています。

能古博物館も、お蔭様で37年目となりますが、私が長く兼務していました館長職を、小柳左門氏と交代致しました。氏は、日本の古典や歴史に造詣があり、温故知新を求める博物館の役割に寄与されるものと存じております。今後ともよろしくお願いいたします。

昨年は館庭にある「孔子廟」の経年の劣化修復を目的に、クラウドファンディングでのご支援を募りましたところ、皆様の格別のご賛同を賜り、誠に有り難うございました。現在使用木材の腐食防止が行われており、完了は新年度に入ってからとの予定です。修復後のご訪問をお待ちしています。

また、NHK大河ドラマ「光る君へ」の12月放送分で、同時代に博多湾に侵攻した「刀伊の入寇」に関連し、能古島の映像が出たことにより、一躍全国的に有名になりました。今後の来島者増が期待されています。

本号では、新館長の「元寇750年記念講演」の内容を掲載し、また2024年が亀井南冥なんめい没後210年にあたり、南冥が秋月藩校「稽古館」でも教授していたという同藩との関係を、秋月博物館館長・佐々木隆良氏に寄稿して頂きました。お楽しみ下さい。

# 館長就任のご挨拶

令和6年4月より、  
私こと能古博物館館長として、前任の原寛理事長兼館長からの依頼を受けまして就任致しました。これまで医師として務めて参りましたが、博物館の運営につきましては未経験であります。能古博物館の設立の理念と歴史をふまえながら、皆様方に親しんでいただけるように新たな目標を掲げて進んで参りたいと存じております。浅学非才の身であります。どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。



小柳 左門

能古島は博多湾の中心に浮かぶ島ですが、博多が那の津と呼ばれていた古代より、日本の外交や交易の中心地として栄えてきたさまざまな歴史を偲ばせる地でもあります。大陸や朝鮮半島との交流や戦いの歴史は古代から現代に至り、その中で多くの文化や芸術も栄えてきました。当博物館は、亀井南冥一統の功績を主とする亀陽文庫の保持発展とともに、様々な視点から郷土を愛し、郷土の人々を顕彰する施設でありたいと願っています。従前と変わらせず、これからも当博物館へのご支援を、心よりお願い申し上げます。

略歴・九州大学医学部卒(昭和48年)、九州大学循環器内科助教授  
国立病院機構九州医療センター部長、国立病院機構都城医療センター病院長、社会医療法人原土井病院院長、学校法人原看護専門学校校長などを経て現在に至る。  
著書、編著に医学関係のほか、「ポケット万葉集」親子で読み継ぐ万葉集」親子で楽しむ新百人一首」(以上致知出版社など多数

当時すでにアジアから欧州に至る大帝國を築いたフビライハン率いる蒙古(のちに元と命名)は、朝鮮半島を支配下におさめたのち、高麗に命じて作らせた船団や兵力を用いて、約3万5千の軍勢で日本を目指しました。対馬や吉岐で残虐に住民を殺害したのち、博多湾に襲来したのは旧暦の10月20日。沿岸の今津浜や百道浜から上陸し、敵軍は一気に本陣のある赤坂を目指しました。待ち受けたのは主に北部九州の武家衆ですが、多勢に無勢で、蒙古軍は「てっぽう」と呼ばれる新兵器などを使って攻め寄せました。当初はわが軍は劣勢でありましたが、途中からは肥後や筑前などの勇猛な武将たちによって押し返し、蒙古勢は後退をはじめ、夕方になって戦いは中断。ところが翌朝になると蒙古軍の船は博多湾から消えてしまったのです。この事は今でも蒙古襲来の不思議な謎として、様々な説がなされています。

軍勢と防塁とによって侵入を阻まれ、上陸もできないまま志賀島を攻めただけで引き返し、やがて南宋を出た大船団と松浦の沖で合流。そこに襲ったのが大暴風雨で、ほとんどの船が沈没し、軍勢は海に没しました。これを神風とのちに呼びました。以後、元はついに日本征服を諦め、国も滅亡したのです。

元寇に際しては国民の祈りがありましたが、特記すべきは朝廷の亀山上皇でした。伊勢神宮に「我が身に代えて国を護り給う」ことを祈念され、「敵国降伏」の金文字を多数、福岡の宮崎宮の本殿と宮柱の基礎に寄進され、一途に神社や神々への祈りを続けられました。のちに上皇を敬慕する全国の有志により、東公園に銅像が建立されています。また近くには巨大な日蓮像があります。日蓮もまた外寇に対して必死に祈ったのです。かくて我が国は元という大帝國の侵略を防ぐことができました。もしこのとき、日本が敗れていたなら、その後はどうなっていたか。我々の祖先に感謝しつつ講演を終わります。



# 講演「蒙古襲来(元寇) 750年を記念して」

(令和6年11月3日、能古博物館に於いて小柳左門新館長による講演が行われ、およそ70名の来館者を迎えることができました。以下は講演の要旨です) わが国の歴史のなかで、外国軍による



本土への本格的な襲来は2度あるのみです。その最初が大モンゴル帝国による北部九州への襲来で、西暦1274年秋の「文永の役」と呼ばれるものですが、それから今年ちょうど750年の記念の年です。しかも敵襲の本舞台となったのがこの博多湾沿岸であり、博多湾とその周辺には約900艘もの蒙古軍の船が終結したのですから、当時の人々の驚愕と怖れは大変なものであったと想像されます。



元軍の博多湾侵攻図  
文永の役の元軍進路  
弘安の役の元軍進路(東路軍)  
元寇防塁(海岸線は推定)  
※数字は元軍侵攻の日付



# 亀井南冥没後210年に寄せて

朝倉市立秋月博物館 館長 佐々木隆良

亀井南冥没後210年の節目にあたり、あらためて亀井南冥と秋月藩の関係について述べてみたいと思います。南冥と秋月藩との関係で重要な役割を演じた人物は、南冥の高弟で秋月藩校「稽古館」の祭酒(館長)となった原古処です。原古処は、秋月藩士手塚甚兵衛辰詮の次男で、1782(天明2)年原坦齋の養子となり、福岡の亀井南冥の門に学びました。1787(天明7)年養父坦齋の卒去により、21歳で跡目を相続し家業を継いで稽古館の訓導となり、1800(寛政12)年に祭酒となりました。時の藩主黒田長舒の信認が厚く、家老の宮崎織部、渡邊帯刀等の協力を得て秋月の学問・文化の振興に尽力し、有為の人材を育成しました。

黒田長舒は、日向高鍋藩の第7代藩主・秋月種茂の次男で、黒田長堅の養子となり、秋月藩第8代藩主となった人物です。因みに名君で名高い上杉鷹山は秋月種茂の弟で、長舒とは叔父と甥の関係になります。長舒は学問を盛んにして経世済民の治政を実施した秋月藩中興の祖と称されています。

長舒は、1785(天明5)年、初めて入封した年に福岡藩校「甘棠館」祭酒であった亀井南冥を秋月に招き、四書五経や歴史などを稽古館で講義させています。1786(天明6)年より、南冥は秋月に定期的に來て藩主長舒に進講し、

諸生徒に教授しています。その際の南冥自筆による「稽古館左傳會業規約」が残っています。1790(寛政2)年の幕府の寛政異学の禁により南冥が2年後の1792(寛政4)年甘棠館祭酒を罷免されたあとも、秋月藩では引き続き亀門学派の学説(亀井南冥・昭陽父子、原古処)が尊重され、藩校稽古館の学問の主流であり続けました。1806(文化3)年、長舒が南冥の嫡子昭陽を参勤交代に伴い、江戸において南冥の著書『論語語由』全二十巻を自らの序文を添え、秋月藩版として刊本していることは特筆すべきことと思います。

このように藩外の南冥と藩主、家老、原古処が連動して秋月藩の学問・文化の振興、藩政改革まで影響を及ぼしたものと考えます。現在、秋月中学校では秋月博物館所蔵資料から「稽古館の教え」を作成し、暗唱する取り組みを継承しており、さらに、南冥の『論語語由』を学び、顕彰するために、朝倉市民百人が選んだ『論語語由抄』を作成しています。

令和7年は、11月朔日に「全国藩校サミット朝倉大会」の開催が予定されています。その際、稽古館の教育、亀井南冥及び亀門学派の歴史的な意義を再評価する機会となることを切に期待しています。



秋月中学校校庭に建つ「稽古館の教え」

## クラウドファンディング ご支援に感謝致します。

亀陽文庫能古博物館は、昨年(2024)7月1日〜8月21日の52日間、孔子廟階段手摺及び欄干の修復とやり替えを目的に、目標額300万円のクラウドファンディングに挑戦しました。結果は、お蔭様で目標を約1割上回る335.5万円のご浄財のご支援をいただき、終了しました。インターネットによる場合と、銀行振込による場合の2種類の払い込み方法でお願いしましたところ、昨夏の記録的猛暑日の連続のなか、銀行へ足を運んでご支援をいただいた方も多く、感謝に堪えません。作業は、1ペー



(修復前の状況)

## 能古博物館主催「古典を楽しむ読書会」のご案内

能古博物館では江戸時代の儒学の流れをくむ貴重な資料を展示し、また能古島には古代からの歴史が息づき、博物館に隣り合わせて万葉集の歌碑もあります。そこでこのたび能古博物館では、日本の古典を楽しみながら学ぶ読書会を定期的開催し、素晴らしい古典に親しんで、日本の誇るべき文化を味わう集いを始めることといたしました。青少年からおじいさん、おばあさんまで、どんな方も一緒に楽しむ会としたいと企画しておりますので、お誘いあわせの上、是非参加してみませんか。お待ちしております。

### 開催要領予定

#### 第1期古典読書会「万葉集」..4回シリーズ

〈大宰府や博多周辺の筑紫の和歌をはじめ、美しい四季の和歌などを味わいます〉

講師…能古博物館館長・小柳左門ほか

会場…能古博物館会議室

時期…令和7年4月〜7月の第2土曜日、

午後2時より3時30分

会費…入館料および資料代100円

#### 第2期古典読書会「論語」..4回シリーズ

〈江戸時代以後もっとも親しまれた古典であり、人の生き方の基本が示されています〉

時期…令和7年9月〜12月の第2土曜日、

午後2時より3時30分

※お問い合わせ申し込みは博物館へお願いします。





ようこそ博物館へ



**開館日** / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日  
 5月、10月は全日開館  
 ※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください  
**開館時間** / 10:00～17:00(入館16:30まで)  
 (注) 冬季(12月下旬～2月中旬)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(2025年3月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

渡船場前発 アイランドパーク行	全日	07:57	08:45	09:35	10:35	11:35	12:58	13:40	14:35	15:35	16:35
アイランドパーク発 渡船場前行	全日	08:20	09:10	10:08	11:10	12:33	13:15	14:10	15:10	16:10	17:28

※ 繁忙期は臨時便が運行されます。

**西鉄バス**

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば  
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約50分
- 天神より 三越前1Aのりば  
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約30分

**市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ**

- 西鉄バス姪浜駅 北口  
98番「のこ渡船場行き」:約12～20分
- タクシー:約8分

**市営渡船(フェリー)**

- 姪浜一能古島間:約10分

**お問い合わせ**

姪浜旅客待合所  
TEL 092-881-8709

能古旅客待合所  
TEL 092-881-0900

**能古・姪浜航路 時刻表**

能古 発	8	10:00	16	17:30	姪の浜 発	8	10:15	16	17:45		
1	◎05:00	9	11:00	17	18:00	1	◎05:15	9	11:15	17	18:15
2	06:00	10	12:00	18	18:30	2	06:15	10	12:15	18	18:45
3	06:30	11	13:00	19	19:30	3	06:45	11	13:15	19	19:45
4	07:00	12	14:00	20	20:15	4	07:15	12	14:15	20	20:30
5	07:30	13	15:00	21	20:45	5	07:45	13	15:15	21	21:00
6	08:00	14	16:00	22	21:45	6	08:15	14	16:15	22	22:00
7	09:00	15	17:00	23	◎22:45	7	09:15	15	17:15	23	◎23:00

※ 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。

◎印は日祝日運休 2025年3月現在